

■ アフターサービス

部品のお求め、または故障その他、お困りの時はお買い求めの販売店までご連絡ください。



〒540-0005
大阪府中央区上町1-26-7

フリーダイヤル お客様相談窓口
TEL 0120-037-123
URL <https://www.dourakukai.com>
E-mail cservice@marvelcorp.co.jp

道楽会.com



取扱説明書 保管用

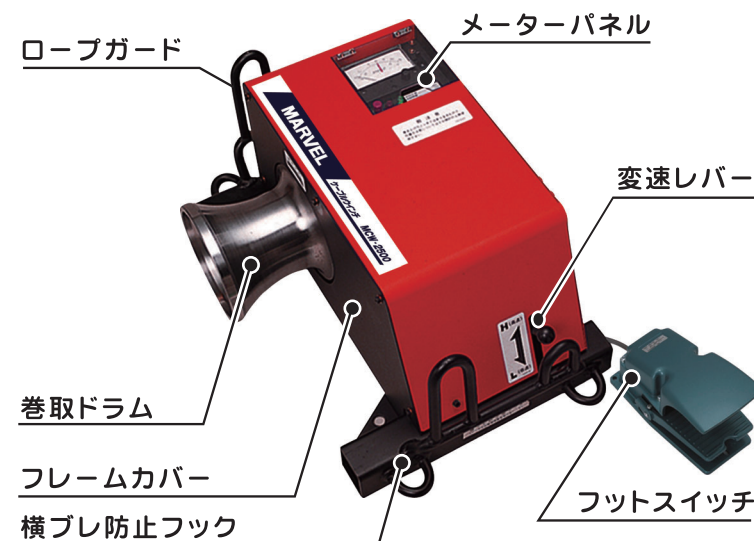


MCW-2500

⚠ 警告 ケーブルウインチ使用上の注意

ケーブルウインチの運転には、下記の特別教育修了者が行ってください。
適用法規：安全衛生規則 第36条 動力により駆動される巻き上げ機の特別教育の実施
参考書：ウインチ運転者必携
発行：建設業労働災害防止協会など

【各部の名称】



⚠ 警告 お読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に必ず保管してください。

株式会社 マーベル

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などが記載されています。

ご使用前に、この取扱説明書を充分にお読みの上、正しくお使いください。

尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

■注意文の 警告 注意 注 の意味について

弊社では、ご使用上の注意事項は、**⚠警告** **⚠注意** **注**に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告: 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

▲注意: 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容のご注意。

〔注〕：製品及び付属品の取扱いなどに関する重要なご注意

※注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■ 目次

仕様	3
安全上の注意事項	4
使用上の注意事項	5
設置方法・操作方法	6
テンションメーターの使用方法	7
巻取ドラムへのロープのかけ方	7
変速操作	8
張力と運転時間	8
継ぎコードについて	8
保守点検・保管場所	9
故障かな?と思ったら	10
メモ	11
アフターサービスについて	12

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

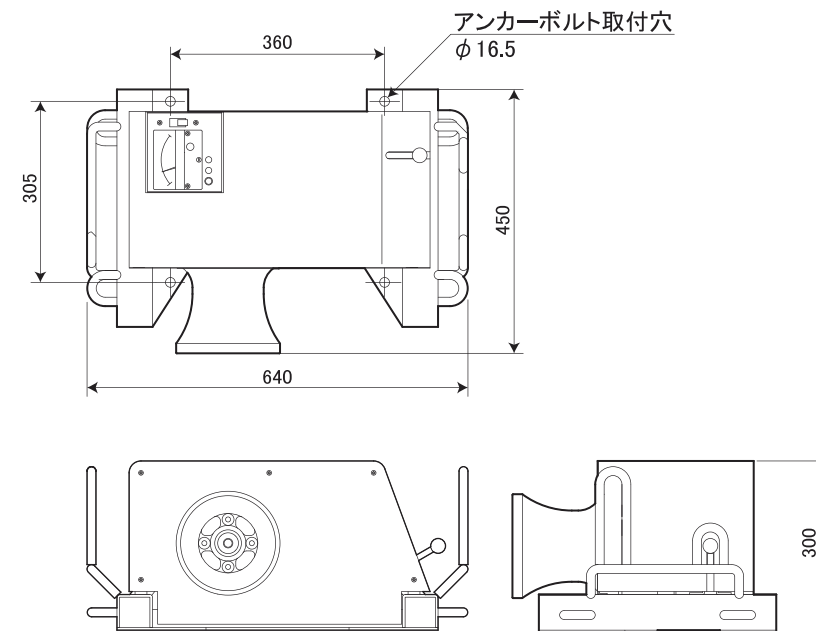
■ 故障かな？と思ったら

次の項目を確認してください。

現 象	原 因	処 置
モーターが動かない	- 電圧降下によりモーターが起動しない - 電源との接触不良 - モーターの故障 - カーボンブラシの寿命	- 電圧降下を防ぐ処置をしてください - 電源を確認してください - 修理を依頼してください - 修理を依頼してください
モーターの力が弱い	- 延長コードが長すぎる - モーターの故障	- 適正容量の延長コードを使用する (P.8) - 修理を依頼してください
モーターが熱くなる	過度に連続使用している	無負荷で回転させてから少し休ませて、モーターが冷えてから使用してください

■ 仕 様

名称	ケーブル入線用ウインチ	
用途	ケーブル延線工事の入線用（ロープまたは、ワイヤーの巻き取り）	
型式	MCW-2500	
巻取能力 (kN)	高速	14.7
	低速	24.5
巻取速度 (m/分)	高速	6.4～3.5
	低速	3.7～2.0
電源	AC100V 50/60Hz	
出力	750W	
質量	59kg	
標準付属品	フットスイッチ	
外形寸法	全長 640×幅 450×高さ 300 mm	



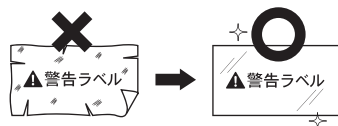
※仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■ 安全上の注意事項

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2. 本機貼り付けの警告ラベルについて。
ラベルが読みにくくなったり、剥がれそうになった場合はすぐに貼り替えて修復してください。
新しいものはメーカーへご請求ください。



3. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

4. 作業場の周囲状況も考慮してください。
●電動工具は雨中で使用したり、湿った場所や濡れた場所で使用しないでください。感電事故のもとになります。
●作業場は十分に明るくしてください。
●引火や爆発の恐れのある物質の近くでの作業は危険ですので、絶対にさけてください。



5. 感電に注意。
アースされている物、(例えばパイプ、暖房器具などの外枠)に身体を接触させないようにしてください。

6. 子供など、作業者以外近づけないでください。

7. 能力以上の負荷は、絶対にかけないでください。

8. コードの扱いについて。
●コードを乱暴に扱わないでください。
●コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って引っ張ってください。
●コードを熱、油、鋭利なものなどに近づけないでください。
●リールに巻いた状態や、折り曲げた状態での使用は避けてください。



感電注意

9. 無理のない姿勢で、きちんとした服装で作業を行ってください。

10. 使用前、必ず部品等が損傷したものがないか点検してください。
部品等が破損したら、純正部品と交換をしてください。



11. 使用前、作動部分の位置調整及び、締め付け状態、取り付け状態など、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

12. 次の場合はメインスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
●使用しない場合、又は修理する場合。
●部品交換の場合。
●使用のため準備中の場合。

■ 保守点検

(1)チェーンの張り

フレームカバーをはずし、タイトナー取付ネジをゆるめて調整します。

(2)チェーン、スプロケットへの注油

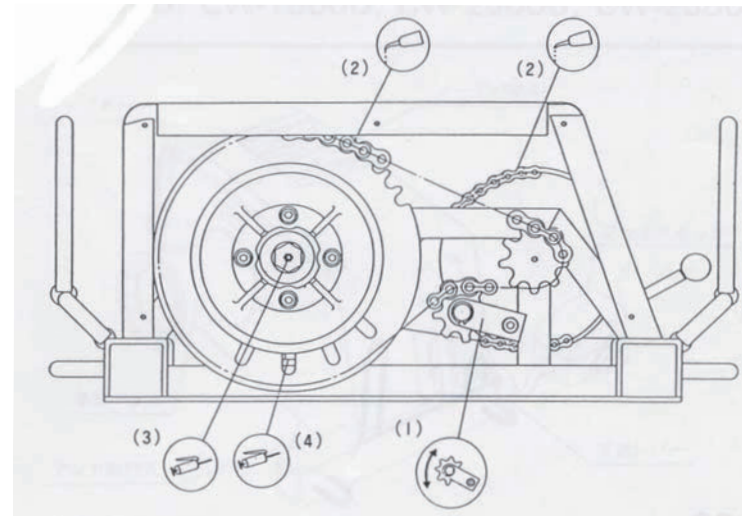
フレームカバーをはずし、注油します。

(3)巻取ドラムシャフトのグリース注油

グリースニップルが付いています。

(4)ラチェット爪へのグリース注油

フレームカバーをはずし、手前側ドラムをはずし、スプロケットを分離させチェーンをはずします。
ドラムシャフト下方にある爪を引き抜いてグリースを塗ってください。



⚠ 警告

点検時には、必ずプラグを電源コンセントより抜いてから作業してください。感電事故やチェーンに巻き込まれる恐れがあります。

■ 保管場所

●作業終了毎に機体の汚れなどを落としてください。

●ネジのゆるみ、脱落を確かめ、湿気の少ない場所で保管してください。

●直射日光、高温、多湿、多埃、の場所や車中又は、お子様の手の届くところには保管しないでください。

■ 変速操作

巻取ドラムスピードは2段階変速になります。

〔注〕 変速は無負荷時に行い、張力をかけているときには操作しないでください。

■ 張力と運転時間

下記の表の運転時間に従い作業してください。過負荷になりますと、ブレーカスイッチが切れ電源がOFFになります。

〔注〕 リセットは、一度OFFにしてからONIにしてください。

低速(kN)	高速(kN)	運転時間
0～14.7	0～8.3	連続
14.7～19.6	8.3～10.8	30分
19.6～24.5	10.8～12.7	

■ 継ぎコードについて

- 電源が遠く延長コードを使用される場合には、十分な太さのコードをご使用ください。過度の延長や細線を使用すると電圧が降下する為に、モータ出力が弱くなり、本来の性能を発揮できないばかりでは無く、故障や事故の原因になりますので適正なコードをご使用ください。

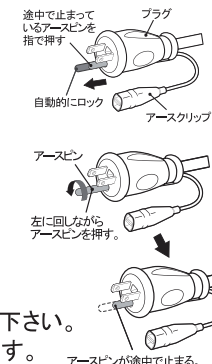
右表はコードの太さ(導体公称断面積)に対する最大長さの参考値を示します。

導体公称断面積	最大長さ(参考値)
1.25mm ²	12m
2.00mm ²	20m
3.50mm ²	45m

■ 使用上の注意事項

⚠ 警告

- ケーブル入線用ウインチです。他の用途には使用しないでください。
 - ケーブルウインチの運転者は、巻き上げ機の特別教育を受けた人が運転してください。労働安全衛生規則(第36条 動力により駆動される巻き上げ機の特別教育の実施)
- 必ず接地(アース)してご使用ください。
 - アースクリップ、アース線は異常が無いことを確認してからご使用ください。
 - アース極付きコンセント①の場合にはプラグのアースピンがロックされていることを確認してください。
 - アースピンが途中で止まっている場合は、一度アースピンを指で押してください。アースピンは自動的にロックされます。
 - アース極無しコンセント②の場合にはプラグのアースピンが使用できませんので、外装のアースクリップでアースを接続して下さい。アースピンを左に回しながら押すとアースピンが途中で止まります。コンセントに差し込むと同時にアースピンは収納され、抜くと自動的にロックされます。
 - 定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型漏電遮断機の設置されている電源でお使いになる場合でも安全のため、アースをお勧めします。
 - アース工事(アース極を地中に埋めアース線を接続するなど)を行うには資格が必要です。
 - 漏電遮断器やアースについては次の法規がありますので参照してください。労働安全衛生規則(第333条 漏電による感電の防止、第334条 適用除外) 電気設備の技術基準(第18条:設置工事の種類、第28条:機械器具の鉄台および外箱の接地、第41条:地絡遮断装置等の施設)
 - アース線をガス管に接続すると爆発の恐れがあります。絶対に接続しないでください。
- ロープ及びワイヤーは作業容量に対し、十分安全性をもたせたものをご使用ください。
- 巻取りドラム回転は”カチカチ”という音を確認してください。しないときには使用を中止し、点検を受けてください。
- スイッチを”切”にしてドラムを停止させたとき、確実に停止するかどうか確認してください。停止しない場合は使用を中止し、点検を受けてください。
- ロープやワイヤーは体、手足等などに巻付けないようにし、手を離せばロープが緩むようにしてください。
- 荷物の吊り下げ、吊り上げ作業には使用しないでください。
- 防水型ではありません。雨中での作業には使用しないでください。



■設置方法

⚠警告

本機を確実に固定する。

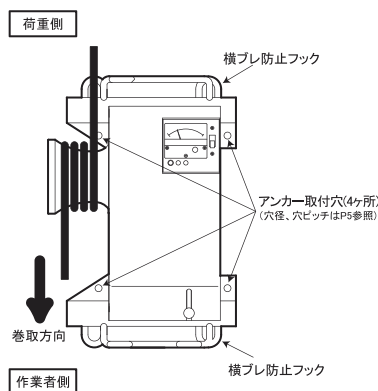
- 本機をアンカーボルトなどにより確実に固定し、十分安全を確認の上、作業を始めてください。
 - アンカーボルト施工は、アンカーボルトの使用上の注意などを参照し、コンクリート強度を考慮して行ってください。(アンカーボルトはM16を4本使用してください。)
 - 作業中は、時々ゆるみを点検してください。
 - ロープガード、横ブレ防止フックに直接荷重をかけないでください。
- 荷重側には入らない。
- 巻取ドラムより先のロープには張力が発生しています。この間には入って作業をしないでください。ゆるんだりすると危険です。

■操作方法

1. フットスイッチを本体メタコンに差し込みます。
2. 本機を確実に固定します。
3. 電源コードをコンセント(100V-15A)に差し込んでください。
4. メーターパネル内にある電源ブレーカを"ON"にします。
5. 巻取ドラムにロープ又はワイヤーを巻取ドラムの内側より外側に一列ずつ巻付けます。
(ドラムは、ロープに摩擦を与え張力を発生させます。)
6. 張力は、ロープ又はワイヤーの引く力を作業側で加減しながら調整します。テンションメーターの数値を確認しながら作業して下さい。

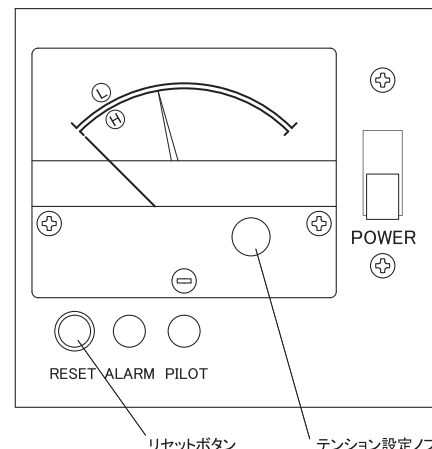
⚠警告

- 巻取ドラムには手などを近づけない。
作業中、巻取ドラムにロープがかたく巻き付いています。手などを巻き込まれると危険ですのでふれないでください。
- 作業休止中は、本機ロープガードなどにロープの引張側を結びつけておいてください。横引き中でもロープの伸びた分の張力がかかっています。ロープはゆるまないようにしておきます。
- 負荷を取る時は、作業側側のロープをゆっくりゆるめます。急にゆるめると、ロープが逆送され大変危険です。



■テンションメーターの使用方法

アナログタイプ MCW-2500



本機には、張力を設定できるテンションメーターが付いています。設定値を置針しておく、設定値をオーバーすると電源が"OFF"になり、巻取ドラムの回転が停止してブザーで知らせます。
復帰はリセットボタンで行います。又、作業中はその時の張力を知ることができます。

ロード・プリセット機構とは

張力を予め設定し、設定値をオーバーするとドラムの回転を停止し、ケーブルにかかる過負荷を防止します。

■巻取ドラムへのロープのかけ方

本機から巻取ドラム回転方向へ外側に一列ずつ巻いてください。ロープをかける回数が多いと手で引く力は少なくなりますが、張力のコントロールが難しくなります。

⚠警告

ワイヤーなどで巻取作業を行いますと、巻取ドラムの表面に傷等が付きやすくなります。傷などが付いている巻取ドラムを使用してロープなどを使用すると、ロープが傷つき作業中に切れる恐れがありますので十分注意してください。